



小佐々地区小中一貫コミュニティ・スクール 海光る町学園

# 佐世保市立楠栖小学校



所在地 佐世保市小佐々町楠泊526番地

校長 佐野 貞現

児童数 114名

学級数 8学級

## 海光る町学園共育目標

ふるさとを愛し、心身をきたえ、たくましく生きる力と  
豊かな人間性を備え、自主性と社会性に富んだ児童・生徒  
の育成をめざす

## 本校教育目標

地域を愛し、夢に向かって たくましく生きる子どもの育成

校訓 「**勇氣**」 「**やる気**」 「**根気**」

### めざす児童像

- ㊦ 考え抜く子ども
- ㊦ がんばり抜く子ども
- ㊦ やわらかな心の子ども
- ㊦ 郷土を愛する子ども

### めざす学校像

いきがい  
やりがい  
学びがい  
のある 学校

## 令和5年度「特色ある学校づくり」実践報告

### 1 目的

小中一貫型コミュニティ・スクールの推進及び地域教育力を  
活用した教育活動の充実

## 2 実践内容

### <コミュニティ・スクールを核とした交流事業>



小佐々小との交流



「学園交流会」  
中学生との交流

#### 「かがやきっ子会議」

小学校、中学校の代表児童による共通実践事項の話し合い

中学校の先生による  
「乗り入れ授業」

中学校の先生による算数の授業  
研究授業での交流等

### <地域交流活動>



イモさし・イモの収穫  
(1・2年生)



造船所見学  
(3年生)



真珠加工場見学  
(3年生)



デイサービス訪問  
(4年生)



アマモの放流  
(4年生)



シーカヤック体験  
(4・5年生)



平和学習  
(5年生)



保育園との交流  
(5年生)



ウエストテクノ訪問  
(5年生)



稚魚放流体験  
(6年生)



お魚さばき方教室  
(6年生)

### <地域人材活用事業>



丸つけ先生



読み語り

#### ミシンの指導

地域の方をゲストティーチャーとして招き、丁寧に教えていただきました。



そろばんの指導

## <学力向上事業>



国語科を中心とした校内研修

## <その他（地域・保護者ととともに）>



PTA 主催  
「逃走中」



木育ジャングルジム  
「くむんだー」



地域の方とともに  
清掃活動

### 3 成果

- コミュニティ・スクールの発足から今年で8年目を迎える。今年度は、小佐々小学校との交流を年間3回、小佐々中学校を含めた「海光る町学園」全体の交流を2回おこなった。2月には3校の代表者による「かがやきっ子会議」を行い、次年度の共通実践目標を決定することができた。
- 地域交流活動としては、豊富な人材や地域資源の活用により、地域学習の推進を図ることができた。探求的な学びを行う中で、地域愛をはぐくみ、ふるさと小佐々への思いをそれぞれに持つことができたとともに、子どもたちも地域学習については大変満足している。

児童による学校評価

それぞれの学年の特色ある活動に満足している

R5

3.5

R4

3.4

- 今年度も地域学校協働本部と連携し、「丸つけ先生」「読み語り」「そろばんの指導」「ミシンの指導」等、全ての学年で年間をとおり、積極的に地域人材を活用することができた。子どもたちにとっては、地域の方とふれあうことができ、また参加された方は「子どもたちから元気をもらった」と、笑顔で学校をあとにされていた。
- OPTA 活動が大変積極的に展開され、11月には「逃走中」、2月には木材のみでジャングルジムを組み上げる「くむんだー」が行われた。とくに「逃走中」では、環境問題や、SDGsをテーマにしたミッション(ゲーム)が繰り広げられ、大人も子どもも真剣に楽しんだ。

## 4 終わりに

この小佐々町は、漁業や海に関係する仕事だけでなく、工業団地や農業など、社会科や総合的な学習で学べる、地域資源が大変充実している。また、学校に協力しようとする地域・保護者の方が多いのも特徴的である。

今年度は、様々な学年が学校をとびだし、地域の方とふれあいながら、学習する機会を設けることができた。また、コミュニティ・スクールとして、小佐々小、小佐々中との交流学习を行うことができた。

児童による学園評価	R5	R4
小佐々3校の子どもは、コミュニティ・スクールの活動を通し、ふるさとを愛する子どもに育っている	3.5	3.4
小佐々地区は、子どもが夢や希望をもち、ふるさととして誇れる地域である	3.6	3.3

コミュニティ・スクールとして、年間4回の「学園運営協議会」を実施している。その中で、委員からは「小佐々地区は、ふるさととして誇れる地域である」という評価項目が、「大人の方が子どもより低い」との意見が出された。

子どもたちは、地域交流活動をとおり、「小佐々の魅力」にたくさん気付いている。今後は、学びで得たその気付きを、積極的に発信する場を設けることで、いっそうふるさとを愛する子どもに育ていきたいと考えている。

今後も引き続き、地域学校協働活動本部と連携しながら、「特色ある学校づくり」に取り組むことで、一層のコミュニティ・スクールの推進と、地域教育力を活用した教育活動の充実を図っていきたい。